

体調向上プロジェクト

気になるカラダのお悩みは、専門医に聞くのが一番。「かかりつけ医の重要性」について大嶋クリニクの大嶋先生に、「定期検診」について澤眼科医院の澤先生にお話を聞きました。

Q1 かかりつけ医を決めるにはどうしたらいいですか？

体の不調を感じたら、まずかかりつけ医で診察してもらいましょう。今の時期、通院をためらう方が増えてきていますが、診察台や操作パネル等の消毒液による清拭、医療用空気清浄機の稼働など感染症予防対策を十分に実施しているの、異変を感じたら迷わず相談してほしいと考えます。

内科、外科、子どもがいるお家でもクリニックは、35年以上にわたって茨木市の地域医療に携わってきました。病気の早期発見、内視鏡検査や乳がん検診といった予防医療にも力を入れています。患者の負担を減らすため、夜遅くまでの透視治療にも対応しています。人工透析室は夜22時まで稼働していますので、仕事帰りでも治療を受けていただけます。

ば、症状に対して早めの対策をとる

かかりつけ医を選ぶ際のポイント

- ✓ 通いやすい場所にあるか
- ✓ 気軽に相談できるドクターか
- ✓ 抱え込まずに、専門医や他病院を紹介してくれるか
- ✓ 家族構成にあわせて必要な診療をしてもらえるか



乳がん検診

乳がんは早期発見、適切な治療を行えば完治も可能な病気です。乳房撮影専用X線診断装置(マンモグラフィ)を設置し、随時乳がん検診を受けつけています。



人工透析

明るい雰囲気のある透析室に、ベッド17床を用意しています。駅からすぐなので通院が便利で、22時まで透析治療を実施するなど、お勤めの方にも受診して頂きやすい環境です。



内視鏡検査

当院では「日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医」が在籍していて、精密かつ専門性の高い検査を実施しています。※胃カメラ・大腸カメラ検査ともに予約制。

医療法人 領愛会 大嶋クリニク

茨木市双葉町8-19 景星ビル
 診療時間/一般:月・火・水・金 9時~13時、16時~19時、木・土 9時~13時
 人工透析:月・水・金 8時~13時半、14時半~22時 ※祝日は月水金のみ対応
 休診日/木曜午後 土曜午後 日曜 祝日
 診療科目/内科・外科・消化器内科・人工透析内科・放射線科・泌尿器科
 ☎072-633-0119 <https://oshimaclinic.jp/>



阪急茨木市駅すぐ

Q2

歯医者と同じように眼科も定期的な検診を受けた方がいいのでしょうか？



澤 雄大 院長

大阪市立大学医学部卒業、大阪市立大学医学部附属病院、東大津病院などに勤務。眼科学会認定眼科専門医、PDT認定医、難病指定医

目を酷使する現代では目の定期検診は大切です。例えば40歳以上の緑内障有病率は20人に1人、70歳を過ぎると10人に1人と言われています。気付いた時にはかなり症状が進んでいることが多いので、40歳を過ぎれば2、3年に1回、60歳を過ぎれば1年に1回は検診を受けることが望ましいです。また、コンタクトの方は3~6カ月に1回は受けてください。コンタクトは正しく使わないと眼とコンタクトの摩擦によるトラブルや細菌感染が起きます。無症状だからと放置しているとコンタクトが着けられなくなったり、感染の結果、視力が戻らなくなったりします。ハードコンタクトの方は、将来的にまぶたの腱(腱膜)が伸びることで起こる腱膜性眼瞼下垂の可能性もあります。また、お子さんに多くみられるまぶたが内を向く睫毛内反症は多くの場合成長とともに改善されます。しかし、ひどい場合を放置すると角膜が濁ったり、乱視が酷くなったり、乱視が酷くなると視力が戻らなくなったり、当院は小児の近視進行抑制治療にも

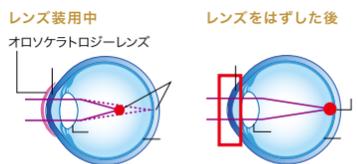


眼科

自宅でできる目の疲れ予防法

- ✓ 定期的に身体を動かす
- ✓ スマホやゲームをする場合は30分~40分に1回休憩する
- ✓ 目薬を定期的に点してまぶたを促す
- ✓ ホットタオルで目を温める

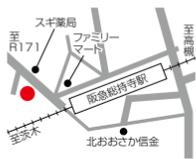
オルソケラトロジーとは



角膜形状を矯正するハードコンタクトを寝る時だけ装着し、日中は裸眼視力の改善を行う新しい近視矯正法。角膜の形状をやや平坦化させて光の屈折を変える事で視力の改善を行う。

澤眼科医院 SAWA EYE CLINIC

茨木市庄2-26-24
 診療時間/月・火・水・金 9時半~12時・16時~18時 土 9時半~12時
 休診日/木曜・土曜午後・日曜・祝祭日
 診療内容/眼科一般 結膜炎・ドライアイ・白内障・緑内障・コンタクトレンズ/眼鏡処方など
 レーザー治療・糖尿病網膜症・網膜裂孔・後発白内障に対するYAGレーザーなど
 日帰り手術・白内障・結膜・まぶたの疾患など
 ☎072-622-1132 <http://www.sawaganka.com>



不妊治療の基礎知識

診察中は保育士に預けられるファミリールームを開設
 二人目以降の治療もサポート



なかむらレディースクリニック 中村 容子 先生

大阪医科大学医学部卒業。日本産科婦人科学会認定産婦人科専門医。日本生殖医学会生殖医療専門医。臨床遺伝専門医。

近年、いわゆる「二人目不妊」で受診される患者様が増えていきます。そこで、二人目不妊のお子様を希望の方が、受診しやすい環境作りを考え、同ビル内にお子様と一緒に過ごせる専用待合室(ファミリールーム)を開設しました。今まで通り、様々な思いで通院されている患者様への配慮も大切に、場所をクリニックエリアとは完全に分離しております。「治療を受けた女性には、30歳以降が先がない」と受診をためらわれている方にも、ご来院いただきやすくなりました。また、お仕事との両立で悩まれている患者様のニーズも高いため、お仕事の前後に受診していただきやすいよう、朝8時から夜7時まで診療を行っております。年末年始以外は無休で土日祝も診療しているため、より正確に排卵時期を把握でき、妊娠につながる最適な治療が可能です。女性は、30歳以降妊娠率が低下し、35歳前後からは妊娠率の低下と流産率の増加が起きます。つまり、少しでも早い治療開始が、妊娠への一番の近道です。悩んでいる間にも、時間は過ぎていきます。当院には経験豊富な生殖医療の専門医、熟練した培養士が揃っています。負担のかかる無駄な検査は行わず、適切なタイミングで次の治療法へステップアップできる環境を整えております。オンラインでの不妊相談

も行ってまいりますので、ぜひお気軽にご相談ください。



スタッフは頼りになるスペシャリスト揃い!

二人目以降の治療をサポートする「ファミリールーム」がオープン



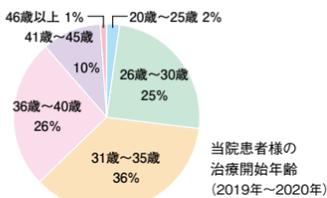
クリニックと同じビルの2階にオープンした、親子で過ごせる専用待合室です。診察時のみ、保育士がお子様のお世話をいたします。お子様が安全に楽しく過ごせるようサポートいたします。

- 1.木のぬくもりが感じられる森をイメージした内装。モニター画面で診察コールがかかるまで、お子さまと過ごすことができます。
- 2.お子さまが楽しく過ごせるよう、絵本やテレビ、車のおもちゃなどを揃えています。80㎡ほどの広々とした空間。

※ファミリールームの利用は事前登録・予約が必要です。ご利用にあたり諸条件等がございますので、詳しくはお問合せください。

不妊治療を始める年齢はいつが良い？

妊娠率は年齢とともに低下します。妊娠を望むなら、年齢に関係なく1日でも早い治療開始を！まずはお気軽にご相談ください。



なかむらレディースクリニック

吹田市豊津町13-45 第三ビル
 診療時間/月~金: 8時~11時、16時~19時
 ※木曜は8時~11時のみ 土日祝: 8時~11時
 ☎06-6378-7333 <https://www.towako-nakamura.com/>
 ※当クリニックは、特定不妊治療助成事業の「指定医療機関」です。



充実の体制・経験豊富なスタッフが最良の治療を

- 医師…女性5名、男性3名(うち生殖医療専門医5名)
- 培養士…8名(うち生殖補助医療胚培養士7名)
- 保育士…2名※増員予定